

平成28年10月13日 (木) 東京新聞

生涯現役社会実現へ
高齢者の雇用考える

墨田で催し

高年齢者雇用支援月間に合わせたイベント「生涯現役社会の実現に向けた地域ワークショップ」生涯現役を目指した高齢者雇用のあり方」が十一日、墨田区江東橋のすみだ産業会館で開かれた。独立行政法人「高齢・障害・求職者雇用支援機構」の主催、東京新聞など後援。

公益財団法人「日本生産性本部」の参与、北浦正行さんが基調講演。高齢者雇用に先進的に取り組む企業



の事例発表があった。主に深礎工法と呼ばれる坑工法による工事などを手掛ける「忠武建基」は、定年制度の改善や高年齢社員を生かす職場改善を実施している。同社の磯上武章社長は「全社的なモチベーションの向上、年代間コミュニケーションの円滑化、生産性の向上につながった」と話した。写真。